

慶運寺 横浜市神奈川区神奈川本町 18-2

慶運寺は、芝増上寺三世定蓮社音譽聖観が永享年間（1390-1440）から文安年間（1441-1447年）にかけて創建したといわれます。慶長4年（1599）に徳川家康より寺領7石を拝領、多くの末寺を擁する中本寺格の寺院でした。江戸時代末期の横浜開港に際して、慶運寺がフランス領事館として供用されていました。明治期に入り、浦島太郎の伝説が伝えられていた観福寺（浦島寺）を合寺したことから、当寺に浦島太郎の伝説が残されています。（新編武蔵風土記稿より）



道路から直ぐの石柱は亀の上



珍しい同寺の案内



横浜開港時にはフランス領事



浦島太郎、同寺の説明版



手水舎も亀



同寺の本堂



浦島観世音堂



真ん中が竜宮伝来浦島観世音像 右が浦島太郎、左が乙姫